

第42期 定時会員総会 事業報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

我が国の経済は、雇用・所得環境は改善しているにもかかわらず、個人消費は低迷し、所得から支出への波及が見えない状況とされており、

バス事業においては、昨年の軽井沢スキーバス事故の影響は大きく、高速乗合バスにおいては、他の交通機関への切り替えもみられ、貸切バスにおいては、新運賃制度により運賃の改善は見られたものの、旅行の出控え等により実働率の低下が顕著となりました。燃料価格は後半上昇傾向とは言え、全般的には下落したことが救いとなっておりますが、慢性的な旅客減少や深刻さを増す運転者不足等、依然として厳しい1年でした。

- ① 安全性の確保については、これまでも事業における最重要事項として取り組んできたが、軽井沢町で発生したスキーバス転落事故により、貸切バス事業を中心に、国の指示に基づき運行管理・車両管理等の確認・見直し等、その徹底を図った。
- ② 運転者不足が深刻であることから、行政にも要請するとともに、パンフレットを作成等により、広く県民に現状を訴えるなど確保に向けた取り組みを行った。
- ③ 乗合バスは旅客減少により厳しい状況が続いているが、地域バス交通の維持は重要であることから、維持に係る補助等について関係機関に支援措置を要請した。
- ④ 貸切バスの運賃制度の大改正により、運賃の適正収受の傾向にあるが、一部に認識不足もあることから、運賃制度の周知に努めた。

1. 協 会 員 (平成29年3月31日現在)

一般乗合 21社

一般貸切 58社

会 員 数 59社

2. 役 員 (平成29年3月31日現在)

会 長 理 事	信南交通株式会社 代表取締役社長	中 島 一 夫
副会長理事	アルピコ交通株式会社 代表取締役会長	堀 籠 義 雄
副会長理事	長電バス株式会社 代表取締役社長	湯 本 卓 邦
専 務 理 事	公益社団法人 長野県バス協会 専務理事	倉 島 義 和
理 事	千曲バス株式会社 代表取締役社長	高 野 公 秀
理 事	和田バス有限会社 代表取締役社長	相 馬 靖 子
理 事	アルピコ交通株式会社 代表取締役社長	古 田 龍 治
理 事	平成交通有限会社 代表取締役社長	齋 進
理 事	茅野バス観光株式会社 代表取締役社長	小 池 源 一
理 事	草軽交通株式会社 代表取締役社長	遠 藤 孝
理 事	伊那バス株式会社 代表取締役社長	藤 澤 洋 二
監 事	宇賀田会計事務所 公認会計士	宇賀田 伸 彦
監 事	中央アルプス観光株式会社 代表取締役常務	田 村 芳 成

3. 専門委員会委員長 (平成29年3月31日現在)

総 務 対 策 委 員 長	信南交通株式会社 代表取締役社長	中 島 一 夫
労 務 対 策 委 員 長	アルピコ交通株式会社 代表取締役会長	堀 籠 義 雄
補助税制対策委員長	千曲バス株式会社 取締役	木 内 美喜雄
乗合バス対策委員長	長電バス株式会社 代表取締役社長	湯 本 卓 邦
貸切バス対策委員長 (観光バス涉外対策委員長)		
	アルピコ交通株式会社 代表取締役社長	古 田 龍 治
安 全 輸 送 委 員 長	平成交通有限株式会社 代表取締役社長	齋 進
環 境 対 策 委 員 長	茅野バス観光株式会社 代表取締役社長	小 池 源 一

4. 会 議

(1) 協会主催の主なる会議

① 総会

○定時会員総会 平成28年6月13日 ホテルブエナビスタ

- 議題 1. 平成27年度事業報告について
2. 平成27年度収入支出決算について
3. 平成28年度事業計画について
4. 平成28年度収入支出予算について
5. その他

② 理事会

○平成28年5月23日 長野バスターミナル会館

- 議題 1. 定時会員総会に提出する議案について
2. 役員の選任について
3. 協会長表彰について
4. 新規入会について

○平成29年3月14日 ホテル信濃路

- 議題 1. 平成29年度事業計画及び収支予算について
2. 役員の選任について
3. 新規入会について
4. 貸切バス適正化事業について

③ 専門委員会

○乗合・貸切・補助税制合同委員会

平成28年4月18日 ホテル信濃路

- 議題 1. 運輸事業振興助成交付金関係について
2. 日本バス協会補助事業について
3. 新貸切バス運賃制度について
4. 軽井沢スキーバス事故関係について
5. 「第4回信州バスまつり」について
6. 信州デスティネーションキャンペーンについて
7. 国民体育大会冬季大会について

○総務対策委員会代表者会議

平成28年4月26日 長野バスターミナル会館

- 議題 1. 平成27年度長野県バス協会長表彰について
2. 新規入会事業者について

- 3. デスティネーションキャンペーン負担金について
 - 4. 「第4回信州バスまつり」の実施について
 - 安全輸送委員会 平成28年6月8日 ホテル信濃路
 - 議題 1. 軽井沢スキーバス事故について
 - 2. 管内における事業用自動車の重大事故発生状況について
 - 3. 交通事故の発生状況について
 - 4. 車内事故防止キャンペーンの実施について
 - 乗合・貸切・補助税制合同委員会
 - 平成28年12月20日 ホテル信濃路
 - 議題 1. 貸切バス関係通達等の改正について
 - 2. 貸切バス適正化事業実施機関について
 - 3. 協会補助事業の状況について
 - 4. 「信州バスまつり」の結果報告について
 - 5. 平成29年度国・県予算施策に対する要望事項について
 - ④ 新年会 平成29年1月30日 ホテルブエナビスタ
 - 支局長講演「地域公共交通の現状と課題及び観光政策の取組について」
 - ⑤ 運輸事業振興助成補助金作業部会
 - 平成29年3月22日 ホテル信濃路
- (2) 協会が出席した主なる会議
- 「プロドライバー事故防止コンクール」
 - ・ 実行委員会 H28.4.8 H28.6.22 保健福祉事務所
 - ・ 表彰式 H28.5.13 ホテル国際21
 - 長野県薬物乱用対策推進協議会
 - ・ 総会 H28.4.26 長野市生涯学習センター
 - 長野県観光客安全対策推進会議 H28.5.20 県庁
 - 「社会を明るくする運動」長野県推進委員会 H28.5.12 県庁
 - 「不正改造車を排除する運動」推進会議 H28.5.11 支局
 - 長野県自動車標板協会
 - ・ 評議員会 H28.5.25 H29.1.24 メルパルク長野
 - 長野県交通安全教育支援センター
 - ・ 評議員会 H28.6.14 ホテルメトロポリタン長野
 - 長野県旅行業協会
 - ・ 総会 H28.5.26 池の平ホテル

- 長野県公共交通活性化協議会
 - ・ バス交通専門部会 H28. 6. 15 H29. 3. 21 保険福祉事務所
- 信州キャンペーン実行委員会 H28. 6. 20 メトロポリタン長野
H29. 2. 21 県庁
- 長野県観光機構
 - ・ 理事会 H28. 6. 1 H28. 11. 1 H29. 3. 17 経営者協会
 - ・ 総会 H28. 6. 20 ホテルメトロポリタン
- 長野県高速道路交通安全協議会
 - ・ 総会 H28. 7. 11 ホテルブエナビスタ
- 運行管理者一般講習打合せ会議 H28. 8. 5 長野県トラック会館
- 長野県道路整備期成同盟会
 - ・ 総会 H28. 8. 22 H29. 2. 3 ホテル国際21
- 自動車点検整備推進運動打合会議 H28. 8. 9 自動車整備振興会
- 自動車運転者時間管理等指導員会議 H28. 5. 25 長野労働局
- 整備管理者研修 検討会 H29. 3. 6 メルパルク長野
- 信州まつもと空港利用促進協議会
 - ・ 理事会、総会 H28. 5. 19 保健福祉事務所
- 運行管理者試験担当者研修会 H29. 2. 2 東京
- 長野県観光産業振興協議会 H28. 6. 10 ホテル国際21
H28. 9. 7 H28. 12. 16 県庁
- 訪日外国人受け入れ連絡会 H28. 5. 19 H28. 6. 28 H28. 8. 25 H28. 12. 14
運輸局
- 事故対策機構計画協議 H29. 3. 10 自動車事故対策機構
- 信州豊かな環境づくり県民会議 H28. 5. 11 トイゴ
- G7交通大臣会合推進協議会 H28. 5. 24 ホテル国際21 H29. 1. 19 県庁
- 長野都市圏総合都市交通計画委員会 H28. 10. 26 H29. 3. 14 県庁
- 長野冬季国体実行委員会 H28. 4. 27 H29. 3. 24 県庁
総会 H28. 8. 18 ホテル国際21
- 暴力追放県民センター評議委員会 H28. 6. 2 ホテル信濃路
- 不正軽油撲滅協議会 H28. 6. 7 県庁
- 運転者労働力確保会議 H28. 11. 22 北陸信越運輸局
- つながる長野連絡会議 H28. 8. 2 生涯学習センター
- 移動性・安全性向上委員会 H28. 8. 4 長野地方整備局
- 自転車条例検討会議 H28. 10. 21 保健福祉事務所

- 民間指定機関懇談会 H28. 11. 7 北陸信越運輸局
- (3) 日本バス協会関係会議
 - 運営委員会 H28. 5. 20 H28. 9. 16 日本交通協会
 - 定例理事会 H28. 5. 20 H28. 6. 16 H28. 9. 16 H29. 1. 17 H29. 3. 16
日本交通協会
 - 安全輸送委員会 H28. 5. 26 日本交通協会
 - 定時会員総会・全国バス事業者大会 H27. 6. 16 経団連
 - 全国専務理事会 H28. 7. 14 高山市 H29. 2. 16 日本交通協会
 - 地方交通・環境対策委員会 H28. 7. 26 日本交通協会
 - 貸切委員会 H28. 9. 8 電気ビル H29. 1. 30 日本交通協会
 - 中央技術委員会
 - ・ 委員会 H28. 4. 14 日本交通協会
 - ・ バス改善要望全国会議 H28. 8. 24 グランドプリンスホテル高輪
 - ・ 全国大会 H28. 11. 8 サンケイプラザ
 - 交付金運用特別委員会
H28. 5. 18 H28. 10. 24 日本バス協会 H29. 1. 17 経団連
 - 全国バス事業者大会 H28. 11. 16 花巻市
 - 労務委員会 H28. 12. 19 日本交通協会 H29. 2. 28 東京国際フォーラム
 - 新年賀詞交歓会 H29. 1. 17 経団連
 - 北陸信越ブロック専務理事会議 H28. 2. 28 石川県バス協会

5. 講習等

(1) 運行管理者等指導講習会

○基礎講習	H28. 6. 22～24	長野県トラック会館	21名
	H28. 7. 20～22	長野県松本文化会館	18名
	H28. 12. 7～9	長野県トラック会館	19名
	H29. 2. 8～10	浅間温泉文化センター	16名
	H28. 5. 27～29. 1. 29 (7回)	アジマ自動車	18名
○一般講習	H28. 9. 9	長野県トラック会館	39名
	H28. 9. 29	長野県松本文化会館	21名
	H28. 10. 7	長野県トラック会館	32名
	H28. 10. 13	伊那商工会館	18名

H28.10.26	上小トラック研修会館	18名
H28.11.9	佐久地区トラック会館	15名
H28.11.15	長野県トラック会館	33名
H28.11.25	長野県松本文化会館	27名
H29.2.15	浅間温泉文化センター	30名
H28.6.21~29.1.20(9回)	アジマ自動車	30名

(2) 整備管理者研修

H28.11.21	松本市	14名
H28.11.28	佐久市	9名
H28.12.1	飯田市	6名
H28.12.2	駒ヶ根市	16名
H28.12.9	松本市	9名
H28.12.12	長野市	20名

(3) 平成28年度運転適性診断(対前年増減数)

一般診断	753名(+234)	初任診断	212名(+32)
適齢診断	104名(-4)	特定診断	6名(+1)

6. 表彰関係

(1) 平成28年度(第13回)協会長表彰

・事故防止に関する功績顕著

伊那バス(株) おんたけタクシー(株)、(株)関電アメニックス

(2) 平成28年度北陸信越運輸局長表彰

従事者・長電バス(株) 米山秀春、横山利之

(3) 平成28年度長野運輸支局長表彰

役員・長電バス(株) 湯本卓邦

従事者・中央アルプス観光(株) 小松英樹

(4) 第39回プロドライバー事故防止コンクール表彰(H29.5.12)

・最優秀事業所 (株)関電アメニックス(特別表彰)

おんたけタクシー(株)

伊那バス(株)

・優秀事業所 7社

(5) 日本バス協会長表彰

- ・ 優良バス運転者 伊那バス(株) 5名、アルピコ交通(株) 2名
長野急行バス(株) 1名

(6) 日本バス協会観光バスガイド褒賞

- ・ 信南交通(株) 1名、伊那バス(株) 1名

7. 事業概況

(1) 総務関係

① バスご利用感謝まごころサービス月間の取組み

期間 : H28. 9. 1~9. 30

- ・ 「まごころサービス月間(略称)」及び「バスの日」を長野運輸支局・長野県の後援により実施要領に基づき実施
- ・ 月間中「自主管理簿」による自主点検の実施、「バスの日」の各社ごとの創意工夫による実施
- ・ 各社社長以下全職員が「ワッペン」を装着し、運動を通して地域の皆様に対する感謝とサービス実施
- ・ 長野県(企画部)が主催する「バス・鉄道利用促進運動強化月間」と連携し実施

<実施事項>

「バスの日」の行事

各社の取組み

- ・ 9月20日(火)を街頭啓発デーとしグッズ等を配布
各社独自の創意工夫による取組み
- ・ バスマスク装着
- ・ ワッペンの装着と「一言あいさつ運動」の実施
- ・ クリーンアップ作戦の実施

協会の取組み

「第4回信州バスまつり」の開催

日頃のバス利用に感謝するとともに、特にこれから利用する子供たちにバスの重要性や楽しさをPRした。

開催日時 平成28年10月1日(土)

場所 北陸信越運輸局長野運輸支局

来場者数 1400名

② 交通安全運動・安全総点検への取組み

適切な運行の確保、シートベルト着用の推進、車両の点検整備の実施を中心に下記運動において周知徹底を期した。

- ・ 春の交通安全運動（H28.5.11～5.20）
- ・ 夏の交通安全やまびこ運動（H28.7.22～7.31）
- ・ 秋の交通安全運動（H28.9.21～9.30）
- ・ 年末の交通安全運動（H28.12.1～12.31）
- ・ 年末年始の輸送に関する安全総点検（H28.12.10～H29.1.10）

③ 北陸信越運輸局新年挨拶（H29.1.18）

局長以下幹部への挨拶及び自動車交通部長との意見交換

（2）労務問題の対応

- ① 平成29年春季労使交渉について、円滑な交渉を図るため日本バス協会からの関連情報を収集し提供した。
- ② 各労働関係助成金等について一層の活用促進を図るため、労働局から資料を収集し周知を図った。

（3）補助助成等及び税制対策

- ① 運輸事業振興助成交付金による補助事業は公益社団法人化に伴い、その対象はバス事業者全体になっているが、事前登録制にしていることから会員外の登録はなかった。
- ② 協会補助事業については、適性診断や運行管理者講習等全額補助事業については十分活用されたが、EMS・ドラレコや貸切バス評価認定など自己負担が伴うものについては残額が出た。このため適性診断受診料補助等、運転者の安全対策関係等に転用した。
- ③ 運転者不足が深刻であることから、日本バス協会と当協会の二重適用による、二種免許の取得補助により雇用の促進を図ったが、人材確保自体に困難な面があった。

（4）乗合バス対策

生活路線は利用者の減少から維持が困難な状況が続いているが、乗合バスが生活に必要不可欠な交通手段であることをあらゆる機会をとらえて主張してきた。また、自治体主導で開催されている地域公共交通会議

の場において地域乗合バス事業者の経験と実績を活用した交通体系が図られるよう対応してきた。

- ① 委員委嘱されている市町村の地域公共交通会議に極力出席し、各地域の交通計画の策定にあたりバス業界の立場で意見を主張してきた。

・長野市地域公共交通会議	H28. 5. 26、H28. 7. 28、H28. 11. 2 H29. 2. 10 H29. 3. 24
・佐久市	〃 H28. 6. 1
・千曲市	〃 H28. 10. 20 H29. 3. 24
・小諸市	〃 H28. 5. 31
・塩尻市	〃 H28. 6. 23
・飯山市	〃 H28. 10. 12
・上田市	〃 H28. 5. 31
・高山村	〃 H28. 3. 29
・野沢温泉村	〃 H28. 4. 28
・安曇野市	〃 H28. 5. 19

- ② 「県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク」の実施について

マイカー利用を自粛し、公共交通や徒歩、自転車等の環境にやさしい通勤手段への転換を目的とする県の運動に協力して特別割引回数券の設定やICカードのポイント付加を行い推進を図った。

(5) 貸切バス対策

新運賃制度は、公示運賃がほとんど守られていない状況にあったバス業界を大きく変える機会となった。運送収入は確実に向上したが、一方実働率の低下が問題となった。また、いまだ一部エージェントや海外エージェントに徹底されなかった。

- ① 各地域における貸切バス事業者間での運賃問題や、輸送秩序について会員・非会員を問わず意見交換を行う「地域懇話会」の開催について支援をした。

・北信地区貸切バス協議会 (H29. 3. 30)	16社出席
・中信地区貸切バス連絡協議会 (H29. 3. 23)	18社出席
・東信地区貸切バス連絡協議会 (H29. 3. 2)	19社出席
・南信地区貸切バス連絡協議会 (未実施)	

- ② 貸切バス事業者の安全性評価認定は制度発足から6年が経過し、これ

までに24社が認定を受けた。認定による特典もあることから協会では補助制度により、会員全社の認定の推進を図った。

- ③ 全国各地域の道路管理者・イベント主催者等からの観光バス車両に係る周知依頼について迅速・適切に対応した。
- ④ 白バス対策など輸送秩序の確立を図ることが業界の健全化・発展に不可欠なため一般利用者等に対し新聞・ラジオを活用し周知を図った。

(6) 安全輸送体制等の確立

昨年1月、軽井沢町で発生したスキーバス転落事故に伴い、国交省及び日本バス協会からの指示の徹底を図った。

- ① 飲酒運転防止インストラクター養成講座について全社が受講し飲酒運転防止体制が確立されるよう、受講料補助等により支援を行った。

28年度 1社 1名

- ② バスの車内事故防止を図るため、7月をキャンペーン期間として取り組んだ。
- ③ 整備管理者選任前研修の開催について、支局からの通知に基づき研修推進のため周知を図った。
- ④ 運行管理者研修の実施について、自動車事故対策機構からの要請を受け全事業者の運行管理者に周知を図った。(基礎講習・一般講習)
- ⑤ 平成28年度運行管理者試験の長野県受託機関として試験を実施した。

第1回 H28. 8. 28 長野バスターミナル会館

受験者	176名	合格者	56名	合格率	31.8%	(県内)
	8,169名		2,876名		35.2%	(全国)

第2回 H29. 3. 5 メルパルク長野

受験者	184名	合格者	34名	合格率	18.5%	(県内)
	8,028名		2,085名		26.0%	(全国)

- ⑥ 自動車運転者時間管理等指導員制度に基づく事業者訪問
長野労働局の委嘱を受け、社会保険労務士とともに労働局リストにそってバス事業者を訪問し、運転時間について指導・助言を行った。

28年度・訪問事業者 6社

(7) 輸送環境の改善及び環境対策

環境保全を積極的に推進するため「人と環境にやさしいバス等普及事

業」や「国の低公害車導入補助事業」の周知を図った。

- 不正軽油の使用により黒煙等の有害物質が増加することから自動車関係団体が協力・展開するディーゼルクリーンキャンペーンについての周知を図った。
 - ・ 不正改造車の排除強化月間（H28.6.1～6.30）
 - ・ 自動車点検整備推進月間（H28.10.1～10.31）
エアクリーナーエレメント・燃料フィルター・噴射ポンプの点検整備推進

（８） 広報活動の推進

- ① 長野県バス協会のホームページについて適時適切に更新し、最近の状況を提供した。また、協会主催の講習会への参加や補助制度の活用について、会員外バス事業者向けに広く情報提供を行った。
- ② バス及び鉄道、タクシー、市町村コミュニティバス等の県内公共交通の情報を「しあわせ信州交通ネット」として、一般利用者へ発信した。
- ③ 新聞・テレビ等を活用し、一般利用者に対し、バスの公共性・環境性等の周知を行った。
- ④ 信州バスまつりの中で、乗合バスの乗り方、貸切バス運賃のしくみ、また、運転者不足の現状をパンフレットとして配布し周知を図った。